

新青年新年號(第四卷第一號)目次

山口 義男
翹表紙
曉(三色版)

秩父宮殿下
時事畫報
金田選手と後藤飛行家

櫻島 一——松野 一夫

日本を何らする……………海軍大佐 水野廣徳(二)

ビスマルクの指環……………文部次官 赤司鷹一郎(三)

日の出(時)……………今泉英夫(三)

私の老師コック仙人……………陸軍大佐 田所成恭(四)

——其の實行期は遠くはない——……………代議士 田川大吉郎(五)

ブラジル移民十年……………在ブラジル 高橋麟太郎(三)

十三歳の特派大使……………日本力行會長 永田 稠(四)

文晁と北馬……………大幡法利(児)

國家有要の人となれ……………衆議院議員 村松梢風(五)

小説 レミイの復讐……………佛アンリ・バルビユース 神部 孝 譯(五)

私達は青年に何を望むか……………(六)

昔の青年と今の青年……………内田魯庵(六)

人間であれ……………早稻田大學教授 吉田絃二郎(七)

自由なる靈の發達……………鐵道院運輸局長 鶴見祐輔(七)

生命ある根柢への生活……………代議士 田川大吉郎(七)

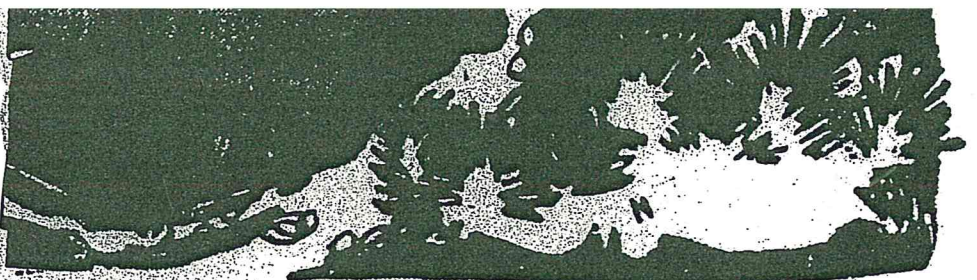
國家美化運動の實行者たれ……………

半勞半學主義……………東宮御用掛伯爵 二荒芳徳(六)

私は寧ろ樂觀する……………内務省社會局 第二部長 田子一民(六)

……………法學博士 吉野作造(六)

次頁を見よ——



廿五才までに

内面的半省と考察

文化的修養を

ある日の感想

救世軍大佐 山室軍平(六)

法學博士 慶大教授 田中萃一郎(八)

早稻田大學教授 内崎作三郎(三)

太陽主幹 淺田江村(金)

■秋から冬へ
■其角の觀察

■青年と老年

■南米西海岸より

■金満家志望者

■腦力の貯蓄と使用

■日に句ふ頰(時)

■學校へ行かずとも

■世界の珍談

■若手有望力士批判

■空界死を忘れたる人々

大悟 法利 雄(六)

池部 鈞(久)

浮羽 筑水(六)

(九)

文學博士 三宅雪嶺(三五)

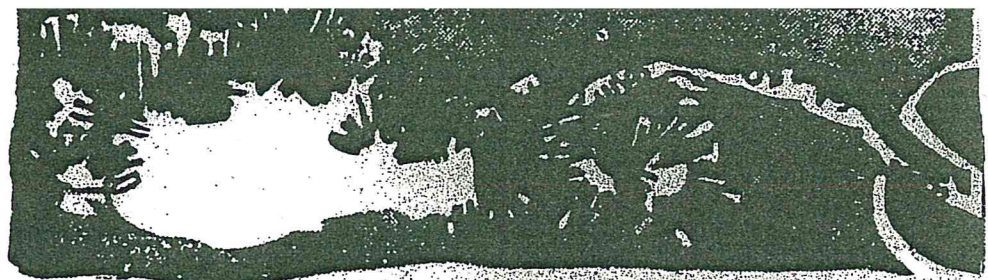
白鳥省吾(四〇)

植松 安(二八)

(二二)

生駒 翔翔(二八)

伊東飛行機 研究所理事 阿部 蒼天(三三)



百萬磅の紙幣(三)

海底へ潜つて鮑の藝當を觀て來た人の話

■笑はぬ男を笑はせた話

■學校出と小僧上り

■極東オリンピックピック大會

■懸賞金三百圓提供規定

マークツエーン作 田中早苗譯(一〇)

渡邊 白鷹(二〇)

鈴木商店 總支配人 金子直吉(二八)

極東競技大會 常置總務委員 内藤 和行(二〇)

(一七)

野猪の話

米國電信船の火夫となりて

■面白い話

■私の所へ來る青年

■最近發明界の進歩

■諷刺物語二篇

■決死の綱

古椿 莊人(二六)

田中 放浪(二二)

東京山中央 職業紹介所長 安田 龜一(一七)

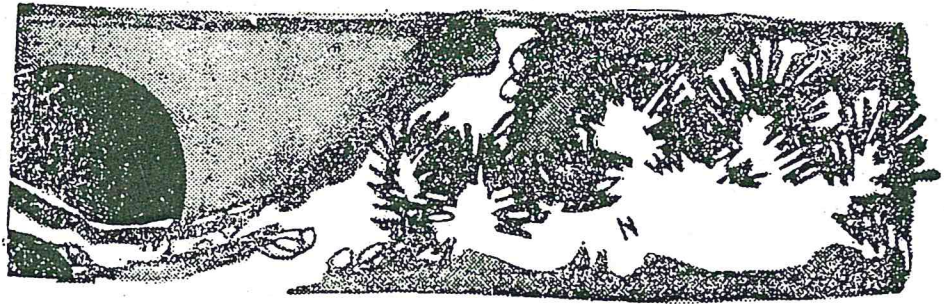
理學士 戸川直仁(二八)

福岡 正作(二八)

大泉 黒石(二八)

夜叉門人(二八)

— 次頁を見よ —



自轉車で日本を一週する不具の青年……一記者(二六)
 全米鐵道罷業に参加して 在米國 白樺生(二八)
 佛シユヴェルノア 田中早苗譯(二九)
 小説廣 告 術……………(三〇)

青年と娛樂問題……………(三〇)

青年娛樂の推移と青年娛樂の特徴

文部省社會 權田保之助(三〇)
 教育調査委員

素人演藝から村芝居へ……………同 橘 高廣(三一)

寄席雜話……………同 永田 衡吉(三二)

公共劇に就いて……………同 仲木貞一(三三)

漫從卒の悲哀……………池内 愚美(三四)

大天狗小天狗……………園基將棋界の珍談……………欄柯堂主人(三五)

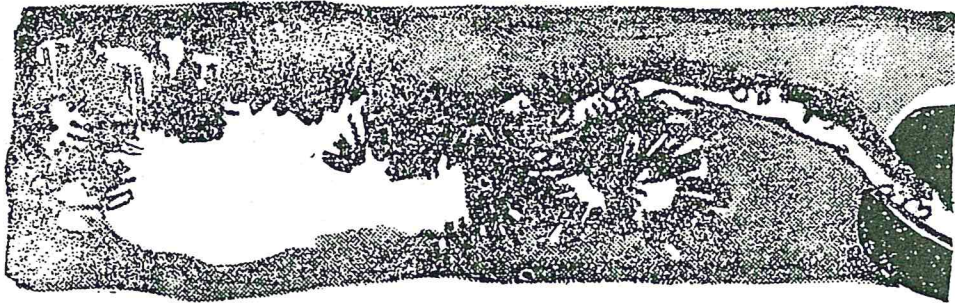
快男兒蒲生忠三郎……………獨學青年に答ふる書……………羽生榕城(三六)

負けず嫌ひ……………獨學者の登龍門……………獨學者の強み……………講義録の選擇

者の日課表……………教科書の長短……………辭典及び備品……………經濟的で有效な方法……………職業從事

短詩……………記憶法……………辭典及び備品……………經濟的で有效な方法……………職業從事

俳句……………松澤雪……………松(三六)……………廿日から廿日まで……………(三七)



編輯局から……………(三九)

毒及毒殺の研究……………醫學博士 小酒井不木(三六)

●連載小説梗概……………(三九)

特別……………十二度目……………シ・アール・ワード(三九)

附録……………消える土耳其人……………チャールス・アツスラー(四〇)

探偵……………鏡の前……………アルバンド・ポルー(四一)

偵……………血液第二種……………チヨーチイングランド(四二)

小説……………嗅ぎ分けた證據……………ユウゴオデユホン(四三)

説……………崩壊……………ハロールド・ポロ(四四)

連載探偵小説

壁……………孔……………モフエツト(四五)

グレレル氏事件……………(完)……………フランク・フロスト(四六)

スミルノ博士の日記……………瑞典エス・アードウーゼ……………鳥井 零水譯(四七)

新春……………探偵小説傑作集豫告……………(四八)